

第43回国際キワニス日本地区年次総会静岡大会

議長 日本地区ガバナー 吉田浩二
司会進行 事務総長 杉田健

日時：2019年9月6日（金）13:00～14:55

場所：グランディエールブケトーカイ 4階 シンフォニー



1. 開会 規約に則り、吉田ガバナーが議長となり、開会が宣言された。
2. 国歌演奏 全員起立の下、台湾、マレーシア、日本の順で国歌が演奏された。
以降、事務総長が司会進行を務める旨発言した後、総会が開始された。
3. 挨拶

(1) 吉田ガバナー挨拶

議長がガバナーとして要旨次のような挨拶を行った。

- 静岡クラブに対する謝意。
ジョージ国際理事、シン KCF 前会長の出席に対する謝意。
- 全国 38 の全クラブ訪問が達成でき、各クラブ／ディビジョンそれぞれが活発に活動を展開されていることが良く分かった。
また訪問の際のご対応に感謝。
- クラブの新設、会員数の増強に力を入れてきたが、愛媛、山形クラブの新設と神戸三宮でのサテライトの開設、近々予定されている長崎大学での SLP の新設に繋がった。



(2) ジョージ・チアン・チュー・チン国際理事挨拶

- 3月に台湾で国際キワニス理事に選出された Teh さんが癌で急逝されたため、私の任期が1年延長され本会に出席させて頂いている。キワニスに情熱を注いでおられた Teh さんの急逝には多くの友が悲しんでいる。
- ダニエル国際キワニス会長が仰るように言葉より実行に向けて努力したい。
- エリミネイト・プロジェクトで125万ドルの貢献やクラブ新設、SLP 新設、会員増強に対して感謝し、次年度も素晴らしい年になるようお祈りしている。



(3) ファン・チア・シン KCF 前会長挨拶



- 過去2年間キワニス子ども基金の会長として日本の総会に出席させて頂いているが、今年は前会長として参加できることを名誉に思う。
 - 日本地区のエリミネイト・プロジェクトへの多大な貢献に感謝し、ここに新たな国が妊産婦・新生児破傷風を撲滅できたことを報告する。しかしながら、未だ13か国では、母と子がこの病気の危険にさらされており、キワニスは今後も世界から妊産婦・新生児破傷風を撲滅するべく活動を続けていく。
- 皆さんが集めた基金は以下の支援に役立てられている。
 - ・ サービス・リーダーシップ・プログラム (SLP)
 - ・ クラブや地区の奉仕プロジェクト
 - ・ 災害義援金
 - ・ エリミネイト・プロジェクト
 - ・ ヨード欠乏症撲滅運動
 - 今年はフィリピンの台風、ネパール、台湾、ノース・カロライナの洪水被害に対し多大な支援をすることができた。
 - しかしまだまだ多くの子ども達が支援を必要としているので彼らに手を差し伸べ続けていきたいと思う。
- (4) 2020年ASPACカトマンズ大会からの代表の紹介
- 来年のASPAC大会ホスト国のネパールから来られたサマルクラブ会長のゴクル・サブコタさんが紹介された。
- (5) ASPAC議長ピーター・ザンダー氏からの祝辞
- 2018-2019年度ASPAC議長ピーター・ザンダー氏からの祝辞が書面にて届いたので和訳を杉田事務総長が読み上げた。

4. 議事

議長の確認指示により、杉田事務総長からクラブ総数38に対して、34クラブの出席をもって、規約に定める定足数の3分の1を超えているので会議として有効に成立している旨報告があった。

第1号議案 2019-2020年度事業計画及び予算案の件

資料に基づき、岸本次期ガバナーが事業計画を、杉田事務総長が予算案をそれぞれ説明、異議なく承認された。

第2号議案 2019-2020年度役員・監事の選任の件

2019-2020年度のガバナーは岸本光正氏が唯一の候補となっている。また2019-2020年度の次期ガバナーは、東京クラブの増田好平氏のみから届け出がなされており、増田氏が候補者1名であることから投票不要。事務総長は東京クラブの杉田健氏、監事は横浜クラブの市原秀一氏で、それぞれ異議なく承認された。

また資料に基づき、副ガバナー、日本地区委員長、委員が報告された。

第3号議案 静岡大会決議（案）の件

吉田決議委員長から、静岡大会決議案が読み上げられ、異議なく承認された。

第4号議案 第45回日本地区総会開催地の件

第45回日本地区年次総会開催地を鹿児島クラブとすることが承認された。

第5号議案 国際理事への立候補の件

来年度国際理事の選任にあたり元ガバナーの藤原武平太氏が立候補する意思を固められたので、国際規約の規定に基づき日本地区として推薦することが提案され、異議なく承認された。



5. 報告事項

(1) 2018-2019年度事業経過報告及び決算見込みについて

杉田事務総長から、資料に基づき、2018-2019年度の事業経過と決算見込みが報告された。なお最終報告は、10月の役員会で審議される。

(2) キワニス日本財団（KJF）からの報告

藤原 KJF 理事長から、資料に基づき、2019-2020年度の事業計画及び予算案について説明があった。また昨年作成したパンフレットを更新したので、活用されたいこと、クラブ特定目的事業について、内閣府から認可されたので今後「テーマ募集型事業」を実施すること、2019-2020年度の管理費を賄うため各クラブから、1人当たり年間1,500円の寄付を要請すること等が説明された。

(3) K コアについて

現在療養中の北里 K コア検討委員長を代行して伊藤一實氏から K コアについて報告があった。今年を受入れの年として高校生6名と引率者が来日、来年度は日本から派遣の年に当たるので派遣生募集に協力を頂きたい。また来年には受入れ側であるインドアナ地区と日本地区が姉妹地区になる話が進んでいることもあり、是非派遣の成功に繋げたい。

(4) 2020年ASPACカトマンズ大会のプレゼンテーション

-host国のネパールから来られたサマルクラブ会長のゴクル・サブコタさんによる映像を使つての受け入れ態勢やネパールの魅力について説明があった。

(5) 2021年ASPAC仙台大会の開催について

2021年ASPAC仙台大会について、ASPAC仙台大会組織委員



長小田忠雄氏から報告と計画の進捗状況の説明があった。また大会にむけて企画された法被とネクタイとスカーフが紹介され、大会運営の一助となるので積極的購入への要望がなされた。

(6) 2020年日本地区年次総会について

開催地金沢クラブの瀬戸和夫会長から挨拶と開催に向けての協力依頼があった。

6. キワニスソング「子どもに夢を」を出席者全員で唱和した。

7. 閉会

最後に意見、質問を求めたが、格別の発言もなかったため、議長が閉会を宣言した。

なおこの後、SLP 報告会と、それに続き資料どおり各種表彰式が行われ、個人、団体に対して表彰状、副賞が授与された。

